

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 図書館法第3条各号に規定する事項に関すること。 (2) 図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3) 市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4) 読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5) 図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表									
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点			
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	5	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間) 平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては利用冊数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(103%)=利用冊数(582,079冊)÷564,047冊(上記②適用)	105%未満~95%:4点 R5:582,079冊 R4:569,688冊 R3:558,405冊 【参考】前指定管理期間の平均:634,673冊(R2:516,286冊、R1:644,286冊、H30:662,333冊、H29:680,520冊、H28:669,967冊) 【参考】開館日数:R5:297日、前指定管理期間の平均日数:290日(R2:259日、R1:301日、H30:299日、H29:296日、H28:296日)	4点			
		5	②利用人数 平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては貸出人数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(104%)=利用人数(延べ139,090人)÷134,055人(上記②適用)	105%未満~95%:4点 R5:139,090人 R4:135,683人 R3:132,427人 【参考】前指定管理期間の平均:167,893人(R2:118,961人、R1:158,491人、H30:164,904人、H29:169,591人、H28:169,185人)	4点			
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点 仕様書に忠実:11~9点 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点 それ以下:2~0点	年次報告書P281~286 ①第57回多治見市文芸祭 (1)一般の部(754人 1,423点)、小中学生の部(6,038人 10,020点) (2)応募人数は一般の部12人増、小中学生の部675人増 ②企画展示事業 季節のミニ展示(52回) ③郷土資料室 (1)古文書ミニ展示(7回) (2)郷土資料を活用した講座(講座タジミ学2回、資料室ゼミ5回) (3)郷土資料の活用・提供 (4)令和版多治見かるたの作成と活用 (5)市役所各課への地域資料レファレンス対応(11回)	仕様書以上 14点	①文芸祭一般の部では昨年を上回る応募が全国からあり、関心の高さがうかがえる。4年ぶりに市内の全ての小中学校から作品の応募があったほか、中学生からの小説部門への応募があり、子どもたちの作品発表の場としての認知が進んでいる。 ②企画展示は昨年を上回る52回を実施。展示内容のアイデアを日々考え、来館いただくことで新たな本と出会える機会を提供している。 ③郷土資料室では、専門性の高い古文書を読解だけでなく、気軽に多治見の歴史に触れていただける講座「タジミ学」が好評。また、職員が講師となり入門編の古文書講座を開設。少人数対応で初心者でも参加しやすい環境づくりに努めた。 ④作成した「令和版多治見かるた」を様々な機会に活用しており、多世代に向けて郷土への関心を深め、多治見の風景を後世に残していく有意義な取り組み。	14点		
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15~12点 例年通り:11~9点 例年よりやや劣る:8~7点 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る:2~0点	年次報告書P287~311 ①ブックスタート事業、読書活動団体連携事業 (1)ブックスタート(23回488組) (2)小さなおともたちのためのおはなし会(24回262人) (3)ボランティアのスキルアップのための研修会(3回19人) (4)読書活動団体との連携事業「クリスマス会」(110人)、(5)手作り絵本巡回展(312人) ②英語多読支援事業 (1)英語多読講座(3回93人+11組)、(2)多読クラブ(12回126人) ③読書推進事業 (1)トショカンフェス(802人)、(2)図書館おみくじ(400人)、(3)多高図書館ゼミ (4)他館との共催による読み聞かせ (小泉公民館2回8組、根本交流センター3回51組、精華交流センター1回15組) (5)企画展示(132回)、(6)啓発・連携展示(13団体30回) (7)雑誌リサイクルフェア(271人2,305冊) (8)多治見市委託事業「くまのがっこう子育て応援プロジェクト」	期待以上 13点	①ブックスタート事業では、図書館ガイドランスとともに絵本のプレゼントをし、親子が日ごろから絵本を通してコミュニケーションを深め心豊かに過ごすきっかけづくりとなっている。 ②おはなしの会を通じて、ボランティアのスキルアップ研修会を実施するなど、より利用者に喜んでいただけるものになるよう努めている。 ③英語多読支援は、多治見市図書館が力を入れる事業の一つであり、多くの愛好者を得て継続的に取り組まれている。多読講座はオンラインと会場とを併用し、海外からの参加者もあり、ニーズの高さをうかがえる。多読クラブは昨年度比160%の参加があり、実践者同士を繋げ多読を継続させる重要な機会を提供している。 ④「トショカンフェス」では様々な企画で図書館をPRしている。特にアイパートナーの会との連携により、録音図書PRの強化に努めた。 ⑤他の公民館と共催し読み聞かせ事業を実施。図書館に来られない方にも図書館の資料を手にとっただけの機会を提供した。	13点			
(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P268(学習館と共通) ①図書館として定期清掃、日常清掃を実施。ロボットクリーナーによる清掃を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	②保守・点検			年次報告書P268, 269(学習館と共通) P312 図書館として機器等保守点検(図書館システム) ①1月に図書館システムの更新と機器の入れ替えを実施。 ②市指定文化財などを収蔵する保管庫の適切な温湿度を維持できるよう管理。 ③大雨洪水警報発令時や地下空調工事の際に、地下の資料を緊急避難させ資料の保全に努めた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 システム更新にあたり市、業者との三者で円滑に作業を行った。 緊急時等の資料保全の行動が速やかに行われている。			
	③保安・警備			年次報告書P269,270(学習館と共通)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	④小規模修繕			年次報告書P270~272(学習館で一部対応) P312 図書館としての有償修理 全1件 総額273,505円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P312 ①毎朝の日常点検から本棚や机、椅子等のネジの緩みの確認、エンジェルカート、ワゴンカートの動作確認を実施。 ②救命救急講習を休館日の閲覧フロアを利用して実施。救急時の動きを確認。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P312 ①市のファイリングシステムに準じて適切な管理と情報を共有。 ②フロアが3階層に分かれているため、各階の業務用パソコンで職員が相互に業務連絡やメールの最新情報を把握できる体制を確立。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P313 ①エアコンの冷房と壁掛扇風機を併用。カウンター前にダクトレールファンを設置。 ②除籍資料はリサイクルフェア等を活用して利用者や公民館へのリユース。 ③除籍した児童書を再活用し葉を作成。廃材を活用したエコ工作を提案。 ④再利用に耐えられない除籍資料は古紙リサイクル。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P313 ①ホームページでの本の検索に障がい者支援ブラウザを導入。視力が弱い利用者を支援(東濃3市では本市のみ) ②館内の案内はイラストや大きな文字を用い、ユニバーサルデザインに配慮。 ③開架フロアに「車いす優先席」を設置。 ④文字が読みづらい利用者向けに「大活字本」を提供。また所蔵する録音図書は障がいがないが字が見難い方にも貸出。 ⑤トショカンフェスでDAISY図書をPR。利用者増につなげた。 ⑥大活字本を公民館へ団体貸出し、読書へのニーズをサポート。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P313 ①やさしすと文庫基金や環境整備事業等を活用し、資料が活用されやすいよう備品を整備。 ②経年劣化や不具合のみられる機器等は、迅速な修繕、更新を心掛けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P313 ①各階にシュレッダーを配置し、個人情報記載の書類は適宜廃棄。 ②図書館システムの画面(貸出・返却)は、可能な限り個人情報を表示しない設定。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入290,735,790円÷支出289,135,298円=101%(学習館、子ども情報センター、市民活動交流支援センター含む)	105%未満～100% 4点	【参考】 ①指定管理料128,991千円(子ども情報センター含む) ②施設独自の収支(人件費、本部経費等除く。子ども情報センター除く) (1)収入/文化事業収入230千円、雑収入117千円 (2)支出/管理運営費23,274千円、文化振興事業費(郷土資料室事業費含む)1,833千円	4点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P315 ①図書館に来られない、来難い市民に対して、公民館と連携。公民館を拠点として図書資料と利用者をつなぐサービスを実施。 ②ふるさと「多治見」に愛着を持ってもらうこと、多治見の姿を後世に伝えていくため「令和版多治見かるた」を作成し、市内の小中学校などに配付。 ③参加者の提案により「tadoku Box」を設置。多読クラブに参加していない参加しづらい多読資料利用者からの質問や悩みに参加者が回答する新しい交流の場を提供。 ④モバイル機器の充電場所を求める声に応え、モバイルバッテリーのシェアサービスを提供。	期待以上 9点	①各公民館の図書室も充実しており、図書館によるコーディネートがうまく反映されていることがうかがえる。図書館では予約が必要でも、公民館ではスムーズに手に入ることもあり、利用者から喜ばれている。 ②「多治見かるた」はふるさとの風景を再発見し、思いを深めてもらうツールとして、郷土資料を活用できる施設ならではの特徴的な取組みである。 ③英語多読の取組む図書館は少ないと聞けが、ニーズに応え続けることで安定した事業として継続している。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P316 ①図書館に関わる各団体と連携し、「トショカンフェス」を実施。図書館が提供する様々なサービスを周知する機会を提供。 ②昨年度好評につき「サタデーナイトライブラリー」を実施。夏休みには子ども向け、冬には近隣の高校と連携して実施。 ③英語多読資料収集を開始して10年目を迎え、開始当初から図書館を利用してきた多読実践者を講師として講座を開催。 ④図書館資料に装備しているプラスチックカバーを自宅の愛読書にもしたいとのニーズを受け、ブックフィルム講座を実施。希望者にはブックフィルムを販売。 ⑤出張図書館を公民館と交流センターで行われる事業に、図書館資料をもって出向く出張図書館を実施。	期待以上 13点	①「トショカンフェス」では、図書館のPRだけでなく、協力する各ボランティアグループのPRの機会ととらえ、日ごろの図書館がボランティアの協働で円滑に機能していることを示す機会とした。 ②「サタデーナイトライブラリー」では、夏は職場体験の高校生と、また冬は多西高放送部と共に実施され、高校生に図書館の事業を知ってもらう機会を提供。 ③多読講演会を、図書館利用者を講師に迎えて実施。実践者だからこそその目線でより具体的な方法を学べる講座となり、参加者から好評を得ている。 ④出張図書館、公民館等との事業と連携して読み聞かせを行うなど、図書館に留まらず利用者の下へ積極的に出向くことで資料と利用者が繋がる取組みに努めている。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし。	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ①来館者に本を手にとってもらいやすい環境がある。図書館に足を運ぶ目的は人それぞれであるが、常にトレンドを意識し、飽きない空間、また来たいと思う空間づくりに努めている。 ②郷土資料室の認知度を高めるための講座や企画に注力している。本を借りるだけではなく、市民が思う図書館とは違う一面があることを周知し、多治見のあらましや風俗に触れ、郷土愛につながるアクションに取り組まれている。	極めて良好	